

平成26年度事業報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

公益財団法人 能村膜構造技術振興財団

1. 概況

平成26年度の事業として、研究助成金を12名、総額1,600万円を交付した。

なお、平成26年12月2日～平成27年1月16日に助成交付対象者に、助成金交付書の授与を行い、事業年度内にすべての助成金支給を完了した。

2. 運営について

(1) 第34回定時理事会 平成26年5月8日開催

第一号議案：平成25年度事業報告

第二号議案：平成25年度決算報告

第三号議案：選考委員選任の件

第四号議案：定時評議員会開催の件

報告事項：職務の執行の状況

(2) 第32回定時評議員会 平成26年5月28日開催

第一号議案：議長互選の件

第二号議案：平成25年度決算報告の件

第三号議案：理事改選の件

第四号議案：『役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程』の改訂の件

報告事項：平成25年度事業報告

(3) 臨時理事会 平成26年5月28日開催

議案：代表理事たる理事長選任について

(4) 臨時理事会 平成26年10月31日開催

議案：研究助成費の増額について

(5) 選考委員会 平成26年11月12日開催

第一号議案：選考委員長選任について

第二号議案：平成26年度研究助成金交付対象の選出について

第三号議案：議事録署名人の選任について

(6) 第35回定時理事会 平成27年3月13日開催

第一号議案：平成27年度事業計画

第二号議案：平成27年度収支予算

報告事項：職務の執行の状況

3. 事業について

(1) 助成事業

平成26年度は、募集要項をホームページにて掲載し、広く助成金の応募を募りました。その結果、16件の応募があり、平成25年11月12日に定款及び選考委員会規程に則り、選考委員会が開催され、慎重且つ、十分な議論の上、12件1,600万円が助成対象として選考されました。

記

- ① 張力場理論で導入されるリンク歪の物理的解釈と薄膜の解析結果に与える影響評価に関する実験的研究。
鳥取大学工学部機械工学科 准教授
岩佐 貴史 150万円
- ② 骨組膜構造による円弧型独立上屋の設計用風荷重に関する研究
東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻 教授
植松 康 150万円
- ③ 伸縮膜によるトポロジー構造体の公共空間への適用モデルに関する研究
神戸大学大学院工学研究科・建築学専攻 准教授
槻橋 修 150万円
- ④ 多孔質材料内部の膜構造形成と力学特性に関する数値解析モデルの構築
山形大学大学院理工学研究科機械システム工学分野 教授
上原 拓也 100万円

- ⑤ 不透水性覆土の多重安全に向けた研究
 独立行政法人国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センター廃棄物適正
 処理処分研究室 特別研究員
 竹崎 聡 150万円
- ⑥ 二酸化炭素濃度の低減をめざした新しい膜素材の開発
 山口大学大学院理工学研究科 准教授
 岡本 浩明 100万円
- ⑦ 大規模集客施設の安全性に関わる研究集会（IASS2016 シンポジウムセミナー）
 東京大学生産技術研究所 教授
 川口 健一 150万円
- ⑧ 膜材を利用した木質系ドームの開発
 日本大学短期大学部建築・生活デザイン科 助手
 廣石 秀造 100万円
- ⑨ 廃棄物浸出水中の有機化合物に対する遮水シートの遮蔽性と腐植物質の影響
 立命館大学理工学部環境システム工学科 講師
 石森 洋行 150万円
- ⑩ ナノ構造制御された強誘電性高分子超薄膜による電子機能素子の開発
 東北大学多元物質科学研究所 教授
 三ツ石 方也 100万円
- ⑪ Photocatalytic Decomposition of Nitrogen Oxides using Titanium
 Dioxide Coated Film Materials
 Laboratory of New Fiber Materials and Modern Textile, The Growing Base
 for State Key Laboratory, Qingdao University
 Professor, Deputy director
 Lijun Qu 150万円
- ⑫ 膜構造の限界状態設計法に関する研究
 豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 教授
 中澤祥二 150万円

付属明細書

特段記載する事項はありません。